

令和6年度

箸蔵小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着を目指し、学び合い考えを深める力を育むことができる授業の工夫・改善
- 家庭との連携による生活・家庭学習習慣の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長

野町 孝英

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

各学期ごとに学力向上検討委員会を設け、成果と課題について検討する。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中は与えられた課題に真面目に取り組むことができる。ドリル学習に意欲的に取り組み、全体的に基礎的な学力が定着してきた。 ●基礎学力の定着や学習スキル(聴く)の獲得に個人差が見られる。	・漢字や計算を中心とした基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができる。 ・学習規律や学習スキル(聴く・話す)をしっかりと身に付ける。	・基礎学力の定着を図るため、朝の活動や放課後の補充学習等の校内支援体制を工夫する。 ・朝の活動や家庭学習を中心に、漢字や計算、文の構成(主語・述語・修飾語等)の問題に継続的に取り組ませる。 ・「めざせ! ききトリ名人」の取組みを継続し、傾聴力と記憶力を鍛える。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペアやグループによる話し合いの場を確保したことで、自分の意見をしっかりと発表できる児童が増えている。 ●複数の資料やデータ等から必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめることに課題がある。	・根拠を明確にして自分の意見を伝えたり、図や式、言葉を使って説明したりすることができる。 ・複数の資料やデータ等から必要な情報を取り出したり引用したりして、自分の考えを書くことができる。	・自分の考えを発表する際、結論や答えだけでなく、根拠を明確にして発表できるようにする。 ・文章や図、グラフなどの大事な部分に線を引いたり丸で囲んだりすることを習慣づける。 ・CD版「学習ガイド」を利用し「読むこと」「書くこと」の活用問題に取り組ませる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○地域ボランティアによる読み聞かせや朝の読書等、ほとんどの児童が読書の時間を楽しみにしている。 ●出された宿題はきちんとできるが、自主学習に取り組もうとする児童に個人差がある。	・「学年×10分」の家庭学習に取り組む習慣を身につけ、主体的に学習に取り組むことができる。 ・朝の読書や家庭読書に意欲的に取り組み、幅広い読み物(新聞を含む)を進んで読むことができる。	・自主学習の内容を教科学習にとどまらず、興味のあることにも広げ、主体的に自主学習に取り組めるようにする。 ・図書の紹介カードを書くなど、読書の感想を共有する機会を設け、読書活動の推進を図る。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

